

美しい町づくり

松川 とも枝

私が住んでいる町は、温泉があり、山と海にかこまれたステキな町です。

二年前の夏休みに私は、お父さんと一緒にもちが浜にさんぽをしに朝早くおきて行きました。少しゴミも気になりましたが、大きい貝がらや小さい貝がらなどいろいろな貝がらをひろった事を思い出したので今年もお父さんにもちが浜に行きたいとおねがいをし、

おさんぽにつれていってもらいました。行く前から今日は、どんな貝がらがひろえるかな。夏休みの工作につかえるかなとワクワクしていました。しかし、二年前とは少し様子がいきました。すな浜を歩いてみるとそこには、海から流れについた木のいたやペトポトルシンプーの用器近くのお店の食べ終わったゴミ、ビーチサンダルのかた方だけ、たばこのすいがらと歩いてても歩いててもゴミばかりだんかなしい気持ちになりました。貝がらは一つ

もありませんでした。どうして、こんなにゴミがたくさんあるのかな。と、「どうしたら2年前のようきれいな貝がらが見つかるようになるのかな。」と考えました。海で楽しく花火などした後には、ちゃんとゴミを持ちかえることが大切だと思います。川と海はつながっていて、いと聞き、川などみてみると、トボトルがういていたので、ここから海にゴミが流れて浜辺に流れついたんだと知りました。私たちが海をよごしている事にも気づきました。1

人一人が、ゴミを持ちかえる。ゴミ箱があれば、分別をしてゴミ箱にすてると気をつけなければいのではないでしょう。私が住んでいる町が、他の町からきれいだねを言ってももらえない美しい町にしたいです。今度、お父さんともちが浜につれていって、もう時は、ぐんとトングとゴミぶくろをもって行き、ゴミひろいをしてもらえたいです。また、きれいな貝がらひろえろといいなと思いましたが、